

～～第8711回～～

三ツ峠山

～R1. 6. 16～

三ツ峠山は山野草が花盛り。三ツ峠というと電波塔が林立する山と思っていたが、森には下草が生い茂り植生豊かだ。登り始めると次々に草花が現れ、歩みが緩くなる。山頂直下の山小屋の前に、可憐なピンクのカモメランが咲いている。向かいには開運山の屏風岩に取りつくロッククライマーも見える。一登りで開運山(1785m)だ。御巢鷹山の東端に位置し、三ツ峠山(開運山・御巢鷹山・木無山)の最高峰で、頂上には「三ツ峠」の石碑がある。左右均整のとれた美しい富士山と広い裾野の光景は雄大だ。カモメランが群生(シロバナもある)しているものの、鉄筋の籠で囲われている。御巢鷹山へ向かう斜面にはアツモリソウが咲いている。やはり厳重に囲われ、ポツペリとした紅紫色の花が重たげだ。厳重に管理しないと保存できないのが残念。御巢鷹山は電波塔に占拠され展望もないため、塔を一周して引き返す。アツモリソウを再度見て、道端で昼食にする。通る人が見る道端の白い花はシロカネソウと教えてもらう。木無山へ巻き道に行く。人だかりを覗くと、囲いの隅に隠れるように咲くキバナノアツモリソウが僅かに見える。三ツ峠山荘前を通り、木無山と母ノ白滝の分岐に出る。小さな標識に木無山と書かれているが、辺りは草原で標識がないと分からない。ここから府戸尾根の長い下りだ。木立の中で展望はない上、三ツ峠周辺とは植生が異なり、山野草が少ない。霜山手前の送電鉄塔からは富士山の見晴らしがよく、一息入れる。道は平坦で歩きやすい分、標高が下がらない。河口湖畔まで歩くのを止め、天上山(1140m)からカチカチ山ロープウェイに乗る。ここは太宰治版「カチカチ山」の舞台らしい。富士見台駅は大混雑。外国人で溢れかえり、湖畔駅に降りても乗車待ちの外国人が長い列を作っている。マイクロバスから河口湖と西湖を眺めながらいずみの湯へ向かう。

参加者：11名(静岡東1、藤枝10)

天気：晴れ時々曇り

地図：河口湖東部

コースタイム：藤枝 600＝三ツ峠(裏)登山口バス停 845…開運山(三ツ峠山)1105…御巢鷹山 1140…木無山 1250…霜山 1422…天上山 1517-25…ロープウェイ富士見台駅 1530-50++湖畔駅 1555＝いずみの湯＝藤枝 2000

記録：藤枝支部 ゆ記

府戸尾根の送電鉄塔からの富士山



アツモリソウ



カモメラン